

「日本秋祭in香港－魅力再発見－」公式ロゴマーク



作者からのメッセージ

一般的に秋というと茶色を連想されることが多いかと思いますが、日本の秋は古来より色鮮やかなイメージがあります。天高くまで澄み渡る青空と白い雲、緑色に混じり紅や黄色に染まる山々、それらを映しだす鏡のような川や湖の水面・・・そんな様子をロゴマークでは、日本の秋を象徴する「菊」の花を散りばめることで表現しました。

「菊」は、春に咲く「桜」とともに日本らしい花のひとつです。桜の季節とは違う日本のイメージも香港の皆様にはぜひ知っていただきたく思います。菊は薬用として中国より伝わり、世界に類を見ないほど日本で品種改良がなされ、その美しい姿は工芸品などの意匠にまで高められてきました。その歴史からも日本人にとっての「菊」は、「創意工夫」の象徴ではないかと私は考えています。

また、一輪の菊の花は、一枚一枚の花びらがそれぞれ独立した花であり、それらの集合体として一輪の花が成り立っています。相手を思いやり、チームワークを重んじる日本企業や日本の社会にとってふさわしい花とも言えます。

香港の皆様には、ぜひとも「日本秋祭 in 香港」で「創意工夫」と「思いやり」に満ちあふれた日本文化や日本のモノ、サービスの魅力を再発見していただくことを心より願っております。

作者プロフィール (2016年7月18日現在)

奥野 和夫 (Kazuo OKUNO)

神奈川県横須賀市在住、グラフィックデザイナー。工業デザインやインテリアデザインを経て、1993年に「オクノ・デザイン・ルーム (のちに有限会社オクノデザインルーム)」を屋号として独立。ロゴマークや全国の学校の校章デザイン・校歌を手がける。近年は、東京2020オリンピック・パラリンピック開催を契機とした江東区ブランディング戦略ロゴマークや「日・サウジアラビア外交関係樹立60周年」「日・カンボジア友好60周年」公式ロゴなど。

(了)